

授 業 科 目	装具学 I (体幹装具)		
教 育 内 容	専門分野	基礎義肢装具学	
担 当 教 員	吉岡久恵、星野元訓		
学 年	1	単 位 数	1
開 講 時 期	後期	時 間 数	講義 30 時間

<b>■ 授 業 概 要</b>					
本科目では、疾患に対して必要となる体幹装具の機能について、講義とセミナーにより学習していく。					
<b>■ 到 達 目 標</b>					
体幹装具の構造、機能について理解する。					
<b>■ 授 業 内 容</b>					
第 1 回	「オリエンテーション」「体幹装具概論」				
第 2 回	「脊椎の解剖・機能解剖」				
第 3 回	「姿勢と腹腔圧」				
第 4 回	「体幹装具の種類」				
第 5-8 回	【発表】関連医学レポート 1-10				
第 9-14 回	【発表】脊椎疾患セミナー 1-10				
第 15 回	「頰椎疾患と装具療法」				
<b>■ 評 価 方 法</b>					
本科目の評価は、「中間試験」、「最終試験」、「小テスト」、「発表」の各項目での評価を総合して行う。					
※提出物において期限を過ぎた場合、基本的に評価は0点とする。					
※発表担当日に発表できない場合、基本的に評価は0点とする。					
【評価配分】					
	中間試験	最終試験	小テスト	発表	合計
	30%	30%	10%	30%	100%
<b>■ 教 科 書</b>					
装具学 第4版					
<b>■ 留 意 事 項</b>					
本科目は各論であるため、義肢装具基本工作論の単位を取得していることを前提とする。基本工作論の単位を取得していない場合は、本科目の単位を認定しない。					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連医学レポート：本科目に関連する課題を割り当てる。資料をまとめ、スライドを用いて発表すること。</li> <li>・脊椎疾患セミナー：課題となる脊椎疾患を割り当てる。それぞれの疾患の特徴と、適用となる体幹装具に求められる機能等を資料にまとめ、スライドを用いて発表すること。</li> </ul>					
<担当教員の実務経験>					
吉岡 久恵：義肢装具製作施設にて義肢装具士として臨床業務に9年間従事。本学科の専任教員として4年勤務。					
星野 元訓：本学科の専任教員として24年勤務。					

